

## < 英語 >

英語科のテーマは「個に応じた基礎的・基本的な学習内容の定着を図る指導の工夫」である。以下の視点で実践に取り組んでいる。

### 1 授業について

#### (1) 目標・目標文の明確化

目標と、目標文を板書し、繰り返し練習することで意識を高め、定着を図った。しかし、板書を写すのが遅い生徒も見受けられるので、改善策として目標文を練習するための穴埋め式のワークシートを作り、使用した。

#### (2) 前回の復習・単語テスト

前回の授業の単語・目標文を小テストするつもりであったが、実施したのは少なく、口頭で触れる程度になってしまった。単元の終わりにまとめて復習テストの時間を設け、学習内容の定着を図った。

#### (3) 視聴覚教材の活用

CD・DVD・フラッシュカードなど視聴覚教材を使用し、「聞くこと」「話すこと」の技能を中心に身につけさせる。CDでは教科書用CDもさることながら、英語の歌のCDを使って興味を持たせるような導入を図った。

#### (4) 個別指導の充実

生徒の苦手な分野のプリントなどを作り、宅習や昼休み、放課後に個別指導し、補足的な学習を図った。また、英検の面接の練習を対象生徒に対して行った。

### 2 家庭学習について

#### ・英語宅習の提出

必ず一日に一ページの英語を練習させ、ポイントやコメントを加え、間違っものは訂正して返した。大半の生徒が以前よりもしっかりとした内容を書いてくるようになっている。

### 3 その他

#### (1) 実用英語技能検定の受検推奨

平成19年度第2回・3回実用英語技能検定を受検させ、個別に指導した。

・平成19年度英検合格者数

5級 5名、4級 3名、3級(一次) 2名(H.20.2月段階)

#### (2) 市中学英語スピーチコンテストへの出場

6月に開かれる市英語スキット・スピーチコンテストにスキット・スピーチを作成し、出場した。(2・3年)

### 4 次年度へむけて

#### ・家庭学習を利用した「書くこと」の指導の工夫

「聞く」「話す」ことが中心であっても、「書く」「読む」能力がなければ受験などにも影響が出てくることを感じている。

授業と家庭学習との関連を図り、効果的なノートやワークブック等の活用を工夫することをテーマとしていたが、思うようにいかず、ワークをためてしまう生徒も見受けられた。ただ消化するものではなく、自分で学習内容を復習させ、「書く」ために有効な使い方を考えていきたい。